

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見 (複数意見)	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38				・通常の園と比べて、お仕事の内容にしては、まだ少ないのかも。	職員は基準に則って配置しています。今後も専門性を高められるよう研鑽を積んでいきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっているか。また、障害や特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか 注釈 i <居宅>訪問療育の内容は、本人にわかりやすい構造化された環境になっていたか	37			1	・その日のプログラムによっておもちゃの配置が変わっていたり、名前ではなく専用のマークで識別しやすいと思います。	これからも子どもたちにわかりやすい空間や配置、配慮など環境づくりに努めています。
	④	生活空間(<居宅>訪問時の状況)は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37	1			・いつもきれいで温度や換気も気をつけてくださっています。	コロナ禍がある程度収束に向かっても、必要な対策は行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(児童発達支援計画ii)が作成されているか 注釈 ii	38					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37			1		
	⑦	個別支援計画(児童発達支援計画)に沿った支援が行われているか	38					
	⑧	活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されているか 注釈 iii	38				・色々な遊具や道具での遊びを取り入れてくださって家庭での遊びのヒントにもなっています。	これからも活動内容を吟味しながら豊かにしていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか	36	2			・これ以降、年上の子によく関わりに行くようになった気がします。	どのクラスも近隣の園と交流しています。友達を意識しながら遊ぶことを目的に主に4.5歳児クラスと交流しています。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画(児童発達支援計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	38					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(iv 学習会等)が行われているか 注釈 iv	38				・とても勉強になる内容で助かります。	これからも子ども理解が深まり、育ちを応援する学習等に行っていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38					

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38				・お昼寝の調整やトイレの誘導、献立のアドバイスなどをしていただいています。	これからも定期的に個別懇談や、必要な時に相談する機会をもっていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	32	3		2	・コロナ流行のため、そもそも連携がとりにくい。	コロナ禍において、一番影響が大きかったのが保護者会の活動でした。他クラスの保護者の方との交流がほとんどしてもらえず残念でした。今後のコロナ対策の緩和により、連携を支援していきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	37	1			・親身になって相談に乗ってもらえるのでありがたいです。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか ＜居室＞事前の体調把握や活動の相談など	38				・すぐ丁寧に連絡帳で様子を伝えて下さって有難いです。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	37			1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	37	1			紛失したことがあるので少し不安	ご心配をおかけし大変申し訳ないです。確認を重ね、二度と起こらないよう努めます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか(訓練は登園時のみ)	38					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	1		3	まだ避難訓練の参加をしていない。	保護者参加クラスの曜日に偏りがあつたかもしれませんが。まんべんなく参加してもらえるよう計画いたします。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	36	2			・「バス」「バス」と行くのを楽しみにしています。 ・行くと楽しく過ごすが、行くことを伝えると「〇〇行く！」と別の場所を希望する。母と行く日はOKらしい。 ・やまびこが大スキです。	これからもお子さんの行きぶりの理由や意味を一緒に考え、相談していければと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	38				とても有難く思っています。	

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」はこの部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成期間、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者のもと作成します。
- iii 「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や障害や課題に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。
- iv 家庭支援プログラム(学習会等)は子どもの成長過程をしっかりと見たり、子どもの行動の中にある思いを理解したり、褒め方や接し方等を学ぶことにより、子どもの育ちを応援することを目標とします。